

五中総を力に 新しい歴史的局面に かつてない挑戦を

春名さん・・・「候補者としての責任と喜び ひしひしと」

五中総に参加した春名なおあき参院比例予定候補は、五中総について「安倍独裁、戦争、民主主義圧殺政権の暴走を許すのか、もう一方平和と民主主義を求める市民革命的な運動で暴走を止め、新しい政治を拓くのか—まさに歴史の分岐の情勢のとき、候補者としてたたかう喜びと責任をひしひし感じた中央委員会でした」と語り、「候補者として、①情勢と党の値打ち、魅力を大いに語り上げ、党と後援会を燃やしいっしょにたたかう、②大激動の情勢にふさわしく視野を広げて幅広い方々との共同とたたかいをすすめる、③党を強く大きくする仕事に全力をあげる」の三つの決意を表明しています。

安倍総理の地元・山口選挙区で立憲主義守る野党統一候補

こうけつ氏・・・「山口から日本をかえる礎に」



安倍総理の地元で、参院選挙区での野党統一が実現しました。

4月7日山口市内で日本共産党、民進党、社民党の3野党と前山口大学副学長の瀬瀬（こうけつ）厚氏が安保関連法案の廃止などを盛り込んだ3項目の政策協定書に調印しました。（写真左から民進党県連の西嶋代表、こうけつ氏、日本共産党山口県委員会の佐藤県委員長、社民党佐々木代表）

これに伴い、今後比例候補として活動することになった松田一志氏は、「野党統一の実現は本当に嬉しい。これを力に比例850万、8議席以上の達成へ全力を挙げる」と決意を語っています。

福山市議選 共産党への期待集め4人全員当選

得票総数11,225⇒12,939、得票率6.19%⇒7.87%、13年参院比245票増

「おおさか維新」「日本のこころ」の議席は許さず

4月10日投票の福山市議選挙で、日本共産党は得票総数・得票率ともに増やし、4人全員当選を勝ち取りました。

福山市は広島市、岡山市に続く中国5県のなかで3番目の大都市です。そこで、福山市民の市民要求実現への日本共産党への期待を示すとともに、「安倍政権の暴走に確かな足場を持って対決する共産党」への期待を示したとも言えます。

福山市の党組織と市議団は、11日にさっそく街頭に立ち、公約実現とともに、参院選勝利の決意を訴えています。